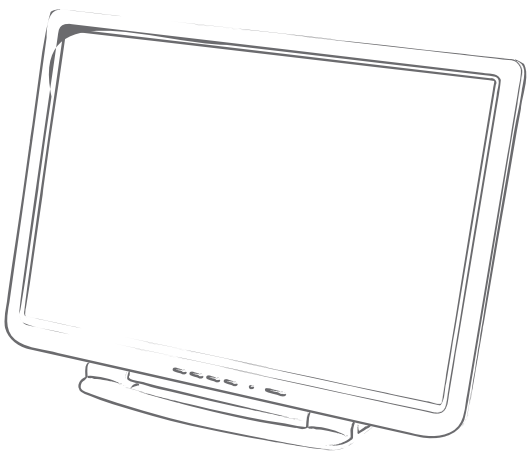
corega

14.1型ワイド液晶モニタ
取扱説明書

RGB

L14WAG シリーズ



■ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
■正しく安全にお使いください。
■お読みになった後は、大切に保管してください。

目 次

- ご使用前に、注意事項をよくお読みください ---------- 2
- 製品の特徴 ---------- 3
- 製品の設置 ---------- 4
- 動作部の名称と調整 ---------- 5
- OSDメニュー 選択/調整 ---------- 6
- メニューの紹介 ---------- 7
- 画面メッセージの説明 ---------- 9
- 信号タイミング表 ---------- 10
- 入力信号端子 ---------- 10
- 製品仕様 ---------- 11
- 修理依頼する前に ---------- 12

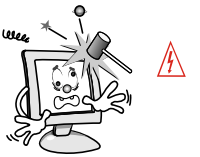
液晶パネルの特徴

■液晶モニタは、構造上、表示画面に黒い点（点滅しない点又は輝点、光点）が見えることがあります。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
■液晶モニタは、長時間映し出しておくと残像が出たり、液晶パネルの寿命を短縮させる場合があります。画面を見ない時は、電源を切ったり、スクリーンセーバーを使うなどにしてください。
■液晶モニタは、長時間使用すると画面の一部又は全体が黒くなるか、ちらちらする場合があります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度電源を入れなおしてご確認ください。
■液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点及びむらが見えることがありますが、故障ではありません。

ご使用前に、注意事項をよくお読みください。

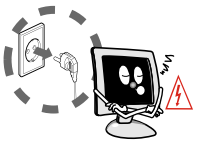
尖った物質(針、ピンなど)によってLCD画面が損傷を受けないようにしてください。

モニタの内部は電気的な素子で構成されています。必ず分解しないまま指定されたサービスセンターにて修理依頼をしてください。

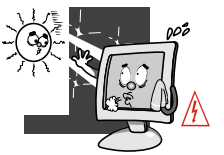


LCDモニタは衝撃に弱いため、画面部が損傷を受ける恐れがあります。取り扱いは特に注意してください。

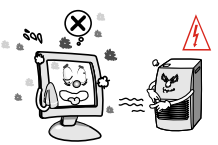
絶対に損傷された電源コードを使用しないでください。



モニタを長い間使用しない場合や外出する時は必ず電源コードを抜いてください。



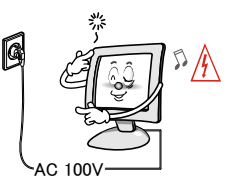
直射光または自然光が直接受ける窓際などでの使用は避けてください。



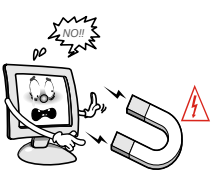
温度が高い場所、湿度が高い場所、ほこりが多い場所での使用は避けてください。

LCDモニタ画面部のお手入れにアセトン、エチルアルコール又は酸性洗剤などは使用しないでください。

傾いている場所、不安定な場所には設置しないでください。製品の損傷又は人が怪我をする恐れがあります。



ACアダプタおよび電源ケーブルをつなぐ前に、お使いの電源電圧がAC 100Vであることをご確認ください。



モニタの周辺には磁気物質、金属、引火性物質などを置かないでください。

注意 画面の残像や焼き付き

長時間同じ画面を表示させていると画面の残像や焼き付きを起こすことがあります。ご使用しないときは電源を切ったり、スクリーンセーバー機能をご使用ください。

製品の特徴

▶はじめに

この度は当社液晶モニタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

▶製品の特徴

1) 本製品は14.1型ワイドで、超精密高解像度の映像を実現します。
2) 本製品は最大解像度1280×800で最適に表示されます。
3) 本製品は水平周波数31～59KHz、垂直周波数56～70Hzまでに自動変換できるモニタです。
4) 本製品はONモードで13W以下(最大)、一時停止(待機)モードで2W以下、OFFモードで1W以下の省エネ機能を持っています。
5) ”プラグアンドプレイ”でお使いいただけます。

▶製品の角度調節時の注意

■ モニタ角度を調節する際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合は液晶パネルが割れる恐れがあります。
■ 角度調節の際、スタンド可動部の隙間に指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。
■ 机上でお使いの場合は、モニタを後ろに倒しすぎると、モニタが転倒して故障の原因となることがあります。

参考

壁掛けにご利用の場合は、スタンドを背面に折りたたんだ状態でご利用できます。（壁掛け用金具は別売りになります）

ご使用のシステム仕様内容によっては、プラグアンドプレイが使用できない場合があります。

製品の設置

▶ 梱包品の確認

以下のものが全て入っているか確認し、万一不足しているものや破損しているものがある場合は販売店又はサポートセンターへご連絡ください。

1．モニタ本体
2．取扱説明書(製品保証書)
3．ACアダプタ
4．電源コード

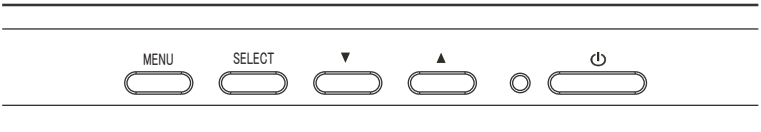
▶ 製品の設置

1．PC又は外部機器とつなぐ前にモニタの電源をOFFにしてください。
2．電源接続
　－モニタのDCジャックに付属のAC電源(アダプタ)を接続します。
　－AC電源(アダプタ)に付属の電源コードを接続します。
　－電源コードのプラグを挿し込みます。
3．入力信号接続
　信号入力端子は15 Pinコネクタです。
　－RGBケーブルをPCの信号出力部に接続します。
4．モニタの電源をONし、PCの電源をONしてください。
5．使用後は、PCの電源をOFFにして、モニタの電源をOFFにしてください。

動作部の名称と調整

本製品の動作部の名称及び機能は下記の通りです。

▶ 動作部の名称と機能



◆ MENU

MENUボタンを押すと、画面上にOSD(On Screen Display)メニューが表示されます。
何も選択されていない状態で再度押すとメニュー画面が消えます。

◆ SELECT

OSDメニュー画面上の選択ボタンとして動作します。
OSDメニューが表示されていないときに押すと「自動画像調整」を行います。

◆ ▼/▲

OSDメニュー画面上で、上下メニューへの移動や、選択した調整値を調節します。

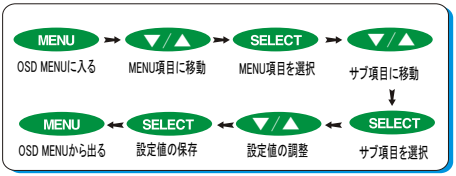
◆ ⏻ (POWER)

モニタ本体の電源をON / OFFします。
※長時間使用しない場合は、電源を切ってください。

MODE	ON	STAND BY	SUSPEND	OFF
表示ランプ	緑色	緑色(点滅)		OFF
画面	Active	Blanked	Blanked	Blanked

OSD メニュー選択/調整

各操作ボタンを押してOSDメニュー内で各メニューを選択/調整できます。
各メニューの設定値を調整する場合は下記の通り操作してください。



1. MENUボタンを押すと、OSDメニュー画面が表示されます。
2. ▼/▲ボタンを操作して希望するMENU項目に移動します。
3. SELECTボタンを押して希望するMENU項目を選択します。
4. ▼/▲ボタンを操作して希望するサブ項目に移動します。
5. SELECTボタンを押して希望するサブ項目を選択します。
6. ▼/▲ボタンを操作して設定値を調整します。
7. MENUボタンを押して設定値を保存(セーブ)します。
8. MENUボタンを2回押し、OSDメニュー画面を閉じます。

参考

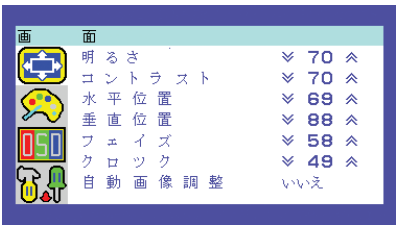
OSDメニュー画面は、メニュー画面表示タイマーがONの状態であれば、一定時間が経つと自動的に消えます。

メインメニューの構成は下記のようになります。

1. 画面
   モニタ画面の明るさ、ブライトネス調整、画面の位置(垂直、水平)、フェイズ(焦点)、クロック(周波数)、自動画像調整などを設定します。
2. 色温度
   色温度、色合い、自動カラー調整を設定します。
3. OSD
   メニュー画面の位置、表示時間、メニュー画面の透明度を設定します。
4. 設定
   メニュー画面の使用言語設定、設定値の初期化を実行します。

メニューの紹介

画面



明るさ:画面の明るさを調整します。
コントラスト:コントラストを調整します。
水平位置:表示画面の水平位置を調整します。
垂直位置:表示画面の垂直位置を調整します。
フェイズ:表示画面の焦点を調整します。
クロック:画素点の水平サイズを調整します。
自動画像調整:画面の位置、フェイズ、クロックを自動調整します。

色温度

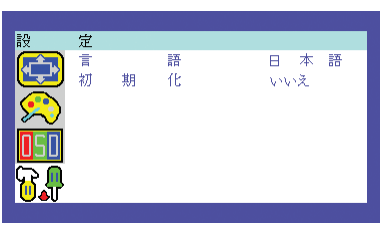
色温度:色感を調整します。(青色、赤色、USER)
赤　色合い調整:赤色の比率を調整します。
緑　色合い調整:緑色の比率を調整します。
青　色合い調整:青色の比率を調整します。
自動カラー調整:画面の色を自動調整します。

メニューの紹介

OSD

OSD水平位置:OSDメニュー画面の水平位置を調整します。
OSD垂直位置:OSDメニュー画面の垂直位置を調整します。
OSD表示時間:OSDメニュー画面の待機表示時間を調整します。
※OSDメニュー画面の待機表示時間は最大40秒まで設定できます。
透明度:OSDメニュー画面の透明度を調整します。

設定



言語:OSDメニューの使用言語を設定します。
初期化:全ての機能、設定値を初期化します。

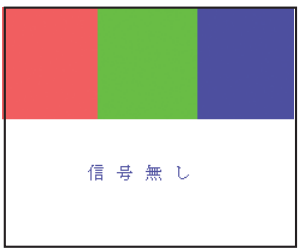
参考

本製品は1280×800の最大解像度で、60Hz/70Hzが最適な状態です。
画面のリフレッシュレートを確認して最適な状態に設定をしてください。

画面メッセージの説明

＊自動画像画像調整

自動画面調整を行うときに表示されます。



＊信号無し

入力信号がないときに表示されます。
ケーブルの接続状態を確認してください。

＊入力信号チェック

入力信号が信号許容の範囲を超えた場合に表示されます。

＊節電モード

入力信号がない場合に表示されます。
PCの電源を確認してください。
このメッセージは自動的に消えます。

信号タイミング表

▶ 信号タイミング表(Timing Guide)

本製品はマルチ周波数モニタです。
水平周波数が31～59kHz、垂直周波数は56～70Hzの範囲で動作します。
マイクロプロセッサーを基本にデザインされているため、同期及びサイズが自動的に調整します。また、本製品には主に使用される10個のモードがあらかじめ調整されています。10個のモードは下記の通りです。

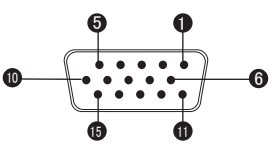
セッティング		解像度		周波数		クロック (MHz)	極性 (H/V)
		水平	垂直	水平	垂直		
VGA	M1	720	400	31.5kHz	70Hz	23.322	-/+
VESA	M2	640	480	31.5kHz	60Hz	25.175	-/+
	M3	640	480	35.0kHz	70Hz	28.000	-/+
	M4	800	600	37.9kHz	60Hz	40.000	-/+
	M5	800	600	43.8kHz	70Hz	45.500	-/+
	M6	1024	768	48.4kHz	60Hz	65.000	-/+
	M7	1024	768	56.0kHz	70Hz	75.250	-/+
MAC	M8	832	234	49.7kHz	70Hz	57.284	-/+
-	M9	1280	800	49.7kHz	60Hz	83.500	-/+
	M10	1280	800	58.4kHz	70Hz	99.000	-/+

▶ 入力信号端子

本製品の信号入力端子はRGBです。

RGB(15 Pin D-SUBコネクタ)

Pin	Signal	Pin	Signal	Pin	Signal
1	Red	6	Red Ground	11	Ground
2	Green	7	Green Ground	12	SDA
3	Blue	8	Blue Ground	13	Horizontal-Sync.
4	No Connection	9	No Connection	14	Vertical-Sync.
5	Ground	10	Ground	15	SCL



製品仕様

モニタの製品仕様

液晶パネル	パネルタイプ	14.1型ワイドカラーTFT
	Pixel領域	0.237×0.237ドットピッチ
	表示色	262,144色
	画面状態	Glare Coating
	有効ドット数の割合	99.99941%
視野角	水平/垂直	90° /60°
コントラスト比	Typ.	300 : 1
輝度	Typ.	200cd/㎡
応答速度	Typ.	25ms
解像度	Max	1280×800@70Hz NI(60Hz for optimal display)
互換性	PC	IBM XT、AT、386、486、pentium or PS/2 and compatibles (from WXGA up to 1280×800@70Hz NI)
入出力コネクタ	入力信号	15 pin D-SUB
	Power	DC+12V In
電源仕様	入力	AC 100-240V 50-60Hz
	出力電圧	DC 12V
	出力電流	3.33A
可視画面サイズ	Max	303.36(W)×189.60(H)mm
動作環境条件	温度	0～40℃
	湿度	20～90%(結露なきこと)
保管環境条件	温度	-20～60℃
	湿度	5～90%(結露なきこと)
本体寸法	W×D×H	343(W)×140(D)×252(H)mm
重量	本体/包装	1.1Kg/2.0Kg

★外観デザイン及び製品仕様は、製品性能の向上のために事前の予告なしに変更される場合があります。

修理依頼する前に

モニタに異常が発生し、修理する必要がある場合は購入された販売店や製品サポートセンターにご連絡ください。

尚、ご連絡する前には下記項目をチェックしてください。

▶□画面が表示されない。

- モニタの電源コードが抜けていないかを確認してください。
- モニタの電源がOFFになっていないかを確認してください。
- システムの電源がOFFになっていないかを確認してください。
- モニタの信号ケーブルが抜けていないかを確認してください。

▶□画面が暗すぎか、明るすぎである。

- OSDメニューの明るさまたはコントラストを調整してください。

▶□画面が左/上または上/下に傾いているか、不安定である。

- 画面の自動調整機能を実行してみてください。
  (表示状態でSELECT ボタンを押す)
- OSDメニューの位置調整を確認してください。
- グラフィックカードの信号モードによってモニタの表示に異常が生じる場合があります。

コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供します。
本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://corega.jp/

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

弊社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

corega 株式会社コレガ

Y613-14243-00 Rev.A